

いわてのNPO・ボランティア活動情報誌

いわてのNPO・ボランティア活動を
笑顔でつなぐパイン



特集 地域を活用する

被災地をあたらしいまちへ

NPO法人 立ち上がるぞ! 宮古市田老

地域から新しい発見を

NPO法人 滝沢市民ネットワーク 02-03

CSR紹介

04

「見える喜びを見る喜び」メガネの松田

Information 05-07

県からのお知らせ

岩手県社会福祉協議会からのお知らせ

県民活動交流センターからのお知らせ

NPO活動交流センター

からのお知らせ

08

【表紙のご紹介】

三陸を応援する「復興バザー」

「いわて県民情報交流センター(アイーナ)」で6月15日(日)に「復興バザー」が行われました。

皆さまから提供された商品を販売し、収益金は全額、岩手県災害義捐金募集委員会に募金いたします。「いわて県民情報交流センター(アイーナ)」は、これからも様々な形で復興を応援していきます。

特集 地域を活用する

NPO法人 立ち上がるぞ!宮古市田老 (NPO田老)

平成23年10月に設立し、東日本大震災で被害を受けた宮古市田老に対して市民の生活再建やまちの復興を支援する事業を行うことで、宮古市田老の更なる発展に寄与することを目的としています。代表の大棒さんにお話を伺いました。



田老のシンボル「三王岩」を背景に記念撮影♪

過去を検証し未来に活かす

2011年3月11日の東日本大震災によって発生した大津波で、東日本の太平洋沿岸地域は壊滅的被害を受け、私の故郷である宮古市田老も今まで経験したことのない大津波に襲われました。その中で、着の身着のまま命からがら逃げ出せた方、避難を行わなかった方、忘れ物、トイレ等で家に引き返し津波にのまれてしまった方など様々な方がいました。そこで私たちは、生き残った方の証言や資料をもとに津波や避難経路や避難場所の検証を行い、この検証を生かしたまちづくり、また検証記録を冊子にして二度と同じ悲劇を繰り返さないよう未来に伝えていきます。

解決すべき地域の課題

県外から視察や被災地見学をされる方が来られます。「何か復興に協力したい。」と温かい言葉をかけてくれるのですが、この方たちが利用できる休憩所や売店が宮古市田老の市街地には少なく、地域にお金が循環できない状況になっています。

さらに、インターネット接続が不十分という課題や

田老の伝統文化である大漁祭りが行われないなどの、まちの伝統・文化が薄れつつあるといった課題もあります。私たちは、こういった課題を行政と協働し解決していきたいと考えております。

受け継いだ先人たちの意思

私たちのまち「宮古市田老」は、先人の不屈の精神と大きな郷土愛で慶長、明治、昭和など、過去幾度となく来襲した大津波を乗り越え、奇跡的な復興を成し遂げてきました。私たちNPO田老は、その先人たちの精神を見失うことなく、宮古市田老の地域力を少しでも取り戻せるような活動をしていきたいと考えています。

みなさまのご支援、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



被災時の様子を語り部が伝えています。

NPO法人 立ち上がるぞ!宮古市田老 (NPO田老)

住所：岩手県宮古市田老字荒谷51-10
FAX：0193-87-2354
E-mail：tachiagaruzo20110311@yahoo.co.jp
URL：http://npotarou.web.fc2.com/

NPO法人 滝沢市民ネットワーク

滝沢市民ネットワークは、滝沢市内の住民、団体、行政などが協力して、「豊かで魅力的なまちづくり」を進めていくための中間支援組織として、平成25年11月に立ちあがりました。代表の佐藤さんにお話を伺いました。



滝の沢でハイチーズ♪

よりよい滝沢を考える

今から10年ほど前、滝沢村役場（現滝沢市役所）が、滝沢の今後10年を考える第5次総合計画に村民を公募してくれました。その時から私の想いは始まったように思います。

無事にNPO法人が立ち上がってまず、市民がわくわくするような企画をしたいと思い、昨年度大活躍した楽天銀次選手の祖父で、普代村在住の畠山保男さんによる『銀じい 銀次を語る』講演会を開催しました。銀次選手の熱狂的ファンの方など多数の方が会場に来られ、大変楽しい講演会になりました。次に、滝沢市民の方々と「滝沢のいいところ探し」ワークショップを開催しようと思ったのですが、「模造紙を使ったワークショップは果たして参加する人は楽しいだろうか?」と思い、それより先に滝沢市内で自分達が行ってみたい場所へ市民の皆さんと一緒にいこうと企画を立てました。

滝沢の名所めぐり

4月下旬、滝沢市の由来になった「滝の沢」をはじめ「NPO法人 馬と曲り屋のおおさわ村」での茅葺屋根の葺き替え作業体験、「モンゴル村」見学、「お山の湯」での入湯等「春の市内めぐりツアー」を開催しました。「滝の沢」はロープをつたって降りなければならないため、山の達人の案内で、ド素人である私達

が事前の下見に行き、無事到着できることを確認しました。その後3日ほど太ももが痛かったのですが(笑)。ツアー当日は天気に恵まれ、水芭蕉群生地では水芭蕉が満開に咲きほこり、参加者からも「大変だったけど参加してよかった」との感想を頂き本当に嬉しかったです。

これからの滝沢市民ネットワーク

講演会は教育委員会と、市内めぐりツアーは商工観光課との共催でした。この活動を行ったことで、みんなと一緒に滝沢に住んで良かったと思えるようなまちにしていきたいと思いが強くなりました。今後の活動予定として「県大生が教える、誰でも分かるスマートフォン・タブレット・パソコン教室」や「地域発見まち歩き（自治会ごと）」また「滝沢すいか農家の収穫体験等、夏の市内めぐりツアー」を考えています。

これからもいろいろな企画を考えていきたいと思っています。



銀二選手の祖父、銀じいの講演会を行いました。

NPO法人 滝沢市民ネットワーク

住所：岩手県滝沢市野沢62-702
E-mail：yoshiusk@yahoo.co.jp
URL：http://www.asahi-net.or.jp/~px5k-njm/

企業が行う社会貢献！CSRの事例紹介

みなさんは「CSR」という言葉をご存知でしょうか？ CSRとは「Corporate Social Responsibility」の頭文字を取った略語で、これを直訳すると「企業の社会的責任」となります。つまり企業は、利益のみを追求するのではなく、ステークホルダー（顧客や従業員また地域社会などの利害関係）との関係も重視し、社会がさらなる発展をするための活動を行う事と言えます。特に欧州では「CSR＝企業の競争力強化」という位置づけになりつつあり、日本でも徐々にCSRへの自主的な取り組みが盛んになってきています。

NPO・ボランティア活動情報誌PINでは、今号からCSR活動を行っている企業をご紹介します！

メガネの松田 見える喜びを見る喜び

代表取締役社長の松田さんにお話を伺いました。



フレームのフィッティング調整を行っています。

自分の職を活かすメガネボランティア

私たち「メガネの松田」は、メガネやコンタクトなどの販売を主に行っております。その中で自分の職業を活かすボランティアとして、ネパールでメガネボランティアという活動を1998年から開始しました。活動内容は主に、視力検査・メガネの無償提供とネパール人医師による眼科検診・治療や鉛筆・消しゴム・ボールペンの寄付を中心に行っております。また岩手県社会福祉協議会と車いすの搬送を行う「いわて車いすフレンズ」も同時に行っています。

この活動を行っていて一番嬉しいときは、メガネをかけた人が「わぁ～、見える見える!!」と言って喜ぶ瞬間ですね。この笑顔を見るとこちらも笑顔になってしまいます。

活動の中で感じたこと

ある日、視力検査を行っていると現地の女性が泣いてしまいました。話を聞くと「私は字が読めない。だから検査が出来ません。」しかしこの検査は、指で上下左右を指す検査でした。これは識字率が低いいた

めに起きた問題です。私たちが活動するネパールの村では字を読めない人が五割ほどいます。読み書きを習得させるために鉛筆などの筆記用具が必要になりますが、買うことができない人がたくさんいます。

この問題に私たちは、目が見えるようになった方たちが勉強できるよう筆記用具を寄付し、豊かな生活ができるようにしたいです。

PIN読者へ向けてメッセージ

「蛇口をひねれば水が出る。」「スイッチを押すと電気がつく。」私たちは、こういうことが当たり前の国に住んでいます。しかし、このような生活が送れない方が世界には、まだまだ多いですね。皆さんの引き出しの中に眠っている古いメガネや使わなくなった、鉛筆・消しゴム・ボールペンなどがありましたら、ぜひ「メガネの松田」までご提供をお願いいたします。一緒に笑顔を増やす活動をやりましょう。



視力検査の様子。

メガネの松田 大通り本店

住所：岩手県盛岡市大通1丁目7-1(サンビル向い)
TEL：019-651-4104 FAX：019-651-1458
E-mail：honten@megamatu.net
URL：http://megamatu.net/

岩手県からのお知らせ

「NPO法人きたかみ市民活動基金」「NPO法人桜ライン311」が認定NPO法人に、 「NPO法人環境パートナーシップいわて」が仮認定NPO法人となりました！

新たに2つの認定NPO法人と1つの仮認定NPO法人が誕生し、これで県内の認定NPO法人は5法人、仮認定NPO法人は2法人となりました。認定NPO法人制度を大いに活用し、復興支援や地域づくりなど、NPO活動を促進させましょう。

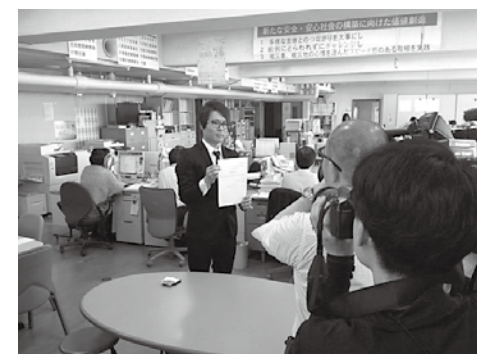
【認定NPO法人制度とは】財政基盤が脆弱なNPO法人への寄附を促すもので、岩手県の認定を受けることにより、寄附をする側も受ける側も税制上のメリットを得ることができます。

○NPO法人きたかみ市民活動基金 (認定NPO法人)

- ・代表者：理事長 佐藤 直也
- ・住所：岩手県北上市大通り1丁目3-1
- ・TEL：0197-61-5035
- ・法人設立目的：市民活動基金を創設し、市民活動団体の支援をととして豊かな市民社会の創造に寄与する。



認定書交付の様子 NPO 法人きたかみ市民活動基金



NPO 法人桜ライン 311

○NPO法人桜ライン311 (認定NPO法人)

- ・代表者：代表理事 岡本 翔馬
- ・住所：岩手県陸前高田市高田町大隅93-1
高田大隅つどいの丘商店街9号
- ・TEL：0192-47-3399
- ・法人設立目的：平成23年3月11日に発生した東日本大震災、とくに津波が襲った地域にいた多くの人びとの悔しい気持ちを後世に伝え、同じ悔しさを繰り返すことのないように、今回の津波の到達ラインを桜等の木々を植樹して明らかにすると共に、今回の被災地ばかりでなく、全国に防災、減災について意識喚起する。

○NPO法人環境パートナーシップいわて (仮認定NPO法人)

- ・代表者：代表理事 野澤 日出夫
- ・住所：岩手県盛岡市厨川5丁目8-6
- ・TEL：019-681-1904
- ・法人設立目的：岩手県内の環境団体、事業者、研究者、行政等あらゆる主体による環境パートナーシップを構築し、連携を強化することにより、未来の世代へより良い環境を引継ぐため環境教育及び環境保全・創造活動を促進し、県民が持続的発展可能な循環型社会の実現に寄与する。



NPO 法人環境パートナーシップいわて

◆組織再編により、県庁のNPO担当課（旧）岩手県政策地域部NPO・文化国際課）の名称が変わりました。
（新しい名称）岩手県環境生活部若者女性協働推進室
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 県庁11階
TEL：019-629-5199 FAX：019-629-5354 E-mail：AC0006@pref.iwate.jp
◎認定NPO法人に関する相談は、認定NPO法人専門員までお気軽にご相談ください。
平日 午前9時～午後4時（ただし金曜日は午後3時まで）

ボランティアとは??

さて、突然ですが、みなさんは「ボランティア」の意味、ご存知ですか？

色々な表現がありますが、私たちは「地域に暮らす皆が、ともに生き、ともに学び、暮らしていくために、自分の意志で自分ができることを行う」活動と考えています。

家族形態の変化、高齢化などの社会情勢の変化や、相次ぐ自然災害の発生などによって、人と人が支え合うボランティア活動の需要は高まっています。

自分にできること・自分にぴったりの活動を見つけましょう！

ボランティア活動に興味はあっても、どんな活動があるのか、自分にできるのか…と、なかなか一歩を踏み出せない人も多いかもしれません。

そんな人にこそ、参加していただきたいイベントが7月からスタートします！

【まちを知り 人とふれあい 笑顔に会おう 2014ボランティア体験inいわて】

子どもから大人までの多世代がボランティア活動を体験し、自分たちの住む地域への理解・関心を深めること、ボランティア活動へ参加するきっかけとなることを目指して、7月1日～10月31日まで開催します。

県内各地の社会福祉施設・ボランティア・NPO団体等から募集するボランティア体験プログラムを見て「やってみたい！」と思ったら誰でも参加することができます。

毎年120以上のプログラムが集まるので、自分にできること・自分にぴったりの活動がきっと見つかります！ぜひ参加してみてください。

詳しくはこちらをご覧ください

URL: <http://iwate-volunteer.jp/>

《ボランティア活動のポイント その1》

ボランティア活動は基本的に一人ひとりの自由な意思で行うものです。しかし、自由な活動の中にもルールはあります。

せっかくのあたたかい気持ちが活かされるよう、ボランティア活動の心構えと原則について、毎回1つずつ紹介していきます。

原則：自主性・主体性

自分自身の「やってみよう、やってみたい」という気持ちが大切です。

ボランティア活動は、強制されるものでも、義務としておこなうものでもなく、自分の意思で行う活動です。

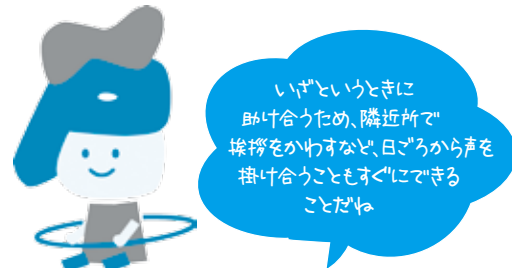
ただし、そのきっかけは必ずしも自分からでなくても構いません。友人、学校の先生、家族に勧められてはじめたとしても、その後、自分で続けようと思えたら、それは自主的な行動です。

「ボランティア体験inいわて」も、そんなきっかけのひとつになればと思っています。

心構え：身近なことからはじめよう！

身近なボランティア活動は、普段の暮らしのなかに根付いています。

自分の暮らす地域に目をむけ、無理なくできることから始めることがポイントです。



ボラン
ティア
豆知識

【お問合せ先】

岩手県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター TEL: 019-637-9711 FAX: 019-637-7592
「ずっぱりボランティアいわて」 URL: <http://iwate-volunteer.jp/>

県民活動交流センターをご活用ください

盛岡駅西口にあるいわて県民情報交流センター（アイーナ）には、様々な分野を扱うセンターがあります。その中から県民活動交流センターをご紹介します。

【6F】子育てサポートセンター

就学前のお子さんをご家族の方と安心してゆっくり過ごせるスペースです。みなさんで遊びに来てくださいね。毎月お誕生日会のイベントや育児講座等も開催しています。赤ちゃん相談(助産師)、栄養相談(管理栄養士)、子育て相談(保育士)も行っていますのでお気軽にどうぞ！

■開館時間 9:00～17:30

☎019-606-1764

URL: <http://www.aiina.jp/childcare/>

【5F】国際交流センター

国際交流や国際協力などのイベントの情報提供や、外国人相談など外国人のサポートなどを行っています。外国人と交流したい、留学に興味がある、日本語を教えたい、フェアトレードって何？日本語を勉強したい、外国語で相談したいことがある…などなど、何でもご相談ください。

■開館時間 9:00～21:30

☎019-654-8900

URL: <http://www.iwate-ia.or.jp/>

【6F】青少年活動交流センター

青少年の健やかな成長を応援する目的で次のような事業を実施しています。

①「ボランティア養成講座」「情報メディア活用講座」等の各種講座、「いわて親子・家庭フォーラム」「いわて希望塾」等の交流事業

②「青少年なやみ相談(☎019-606-1722)」

■開館時間 9:00～20:00

(火・水・金は19:30、土・日は17:30)

☎019-606-1763

URL: <http://www.aiina.jp/seishounen/>

【5F】環境学習交流センター

(岩手県地球温暖化防止活動推進センター)

環境に関する様々な活動を行っています。

- 学習会やイベントの開催
- 講師の派遣、団体の支援
- 情報誌やホームページ等での情報発信
- その他、館内での展示や、体験キット・図書の貸出など

■開館時間 9:00～19:00

☎019-606-1752

URL: <http://www.iwate-eco.jp/>

【6F】男女共同参画センター

男女共同参画社会の実現に向けて、県民が自主的、主体的に活動し、交流するために、情報、学習、相談、交流の視点から推進を図るために事業を実施しております。

■開館時間 9:00～20:00

(月・水・木は19:30、土・日は17:30)

☎019-606-1761

URL: <http://www.aiina.jp/danjo/>

【6F】高齢者社会貢献活動サポートセンター

高齢化が進展する中、元気で意欲ある高齢者に対して、生きがいづくりや活動のきっかけづくりを支援し、高齢者の社会参加を進めます。

■開館時間 9:00～16:00

☎019-606-1774

URL: <http://www.aiina.jp/advancedage/>

【6F】NPO活動交流センター

県民がNPOやボランティア活動に参加しやすい環境づくりや、企業や行政など多様な主体との協働を推進するお手伝いをします。

■開館時間 9:00～21:30

☎019-606-1760

URL: <http://www.aiinanpo.org/>



岩手県の地球温暖化防止
対策キャラクター
エコハッチャー



NPO活動交流センターの
イメージキャラ
ワワ

総会が終わると登記が必要となります！

○資産の総額変更の登記

決算終了後2ヶ月以内に、毎年、「資産の総額」を登記する必要があります。

○法人を代表する理事の変更登記

役員（理事・監事）は、通常2年ごとに、通常総会で選任されます。理事長および副理事長は、総会終了後の理事会において、理事の互選で決まります。

平成24年4月の法改正で、代表権を有する者のみを登記することになりました。

理事長一人のみに、法人の代表権を付与している場合、新任あるいは再任いずれの場合も2週間以内に登記する必要がありますので、注意が必要です。

詳細は、所轄の法務局へ確認のうえ手続きすることが肝心です。

（参考） 1. 登記の際の用語：「再任の場合 → 重任」、「新任の場合 → 就任」

2. 添付書類：○総会議事録、○理事会議事録、○就任承諾書

助成金 情報

あしたのまち・ くらしづくり活動賞

【募集の対象】

地域住民が自主的に結成し運営している地域活動団体、

または、地域活動団体と積極的に連携して地域づくりに取り組む企業、商店街、学校等。活動に2年以上取り組み、大きな成果をあげて活動している団体。活動範囲については、市区町村地域程度までを範囲に活動している団体を対象とする。

【応募の締切】 平成26年7月14日(月)必着

【表彰】(予定)

- ・内閣総理大臣賞 1件(賞状・副賞20万円)
- ・内閣官房長官賞 1件(賞状・副賞10万円)
- ・総務大臣賞 1件(賞状・副賞10万円)

その他詳細は下記URLをご覧ください。

<http://www.ashita.or.jp/prize/index.htm>

Panasonic NPOサポートファンド・環境分野

【助成対象団体】

- ・ 環境問題に取り組み、強い市民社会の創造を目指す NPO/NGO
- ・ 団体設立から3年以上であること
- ・ 有給常勤スタッフが1名以上であること
- ・ 国内に事務所があること

【助成対象事業】 第三者の多様で客観的な視点を取り入れた組織基盤強化の一連の取組を最長3年まで応援します。

【助成金額】 1団体への上限200万円。

【応募受付期間】

2014年7月16日(水)～7月31日(木)必着

【お問合せ】

TEL : 03-5298-6644 FAX: 03-3255-2202

E-mail : eff-spf@eco-future.net

URL : <http://panasonic.co.jp/citizenship/pnsf>

編集後記

最近、知人の方たちから「社会活動に興味があるんだけど」や「今の活動を大きくしてNPOや一般社団法人にしたいけど、どうすればいいの?」とお話を持ちかけられる機会が増えてきました。適切な助言をできるように自分を磨いていきたいと思います。(担当 イハタ)

NPO活動交流センターのHPでは、様々なイベント情報や助成金情報を掲載しています。

皆さまからの情報や取材依頼もお寄せください!

URL : <http://www.aiinanpo.org/> E-mail : n-katsu@aiina.jp

アイーナ N活

検索

 **Twitter フォローお願いします!!!**
<https://twitter.com/aiinaNPO>

 **Facebook いいねお願いします!!!**
<https://www.facebook.com/aiinaNPO>